

▶ ホーム

学会案内

▶ 概要

▶ 定款等

▶ 組織・役員

▶ 学会からのメッセージ

▶ 事務局・連絡先

市民の皆様へ

▶ 医療における放射線被曝

▶ 放射線科の紹介

▶ 放射線・原子力関連情報

▶ 放射線医学の歴史

▶ レントゲンの日

医学生・若手医師へ

▶ 若手医師・学生の皆様へ

平成14年度第8回理事会議事録

2006-6-1 14:54:00

日 時: 平成14年12月25日(水)14:00~17:00
 場 所: 学士会館赤門分館3号室
 出 席: 小西淳二会長, 板井悠二総務理事, 石垣武男,
 遠藤啓吾, 久保敦司, 田村正三, 松井 修,
 中村仁信, 早瀬尚文, 西谷 弘, 杉村和朗,
 山田章吾各理事 渡会二郎第38回秋季臨床大会長,
 中尾宣夫第39回秋季臨床大会長
 欠 席: 隈崎達夫理事, 阿部公彦, 大友 邦監事

議事

1. 前回議事録の承認
 2. 第62回日医放総会について
 - ・会長報告
 - ・優秀論文賞受賞者について
 3. 第38回秋季臨床大会報告
 4. 第39回秋季臨床大会について
 5. 将来計画委員会(選挙制度, 各種委員会)
 6. 学会雑誌について
 7. 定款の変更
 8. 会計について
 9. 学会内規について
 10. 医療用標準線量計研究会の線量測定事業について
 11. 地方会抄録受付UMIN利用について
 12. JRCについて
 13. 医学物理士認定制度規約について
 14. 専門医修練機関の外国留学中における算定について
 15. 御園生賞について
 16. 会告の承認
- 12月号(事後) 第41回生物部会学術大会のお知らせ
 1月号第39回日本医学放射線学会
 秋季臨床大会案内
 第15回優秀論文賞について
 第14回放射線科専門医認定一次試験について
 第12回放射線科専門医認定二次試験について

報告事項

1. 専門医連絡協議会報告
2. 医学物理連絡協議会
3. 各委員会報告
 - ・健保・健保実行合同委員会
 - ・防護委員会
 - ・将来計画委員会
 - ・広報委員会
 - ・医療事故防止委員会
 - ・教育委員会
 - ・乳房撮影委員会
 - ・編集委員会報告

▶ 入会案内

▶ 会員のみなさまへ

- ▶ What's New
- ▶ 会員向けの情報
- ▶ 学会からの情報・ガイドライン
- ▶ 安全に関する情報
- ▶ 会報・会告
- ▶ 学会誌・出版物
- ▶ 学術大会(春・秋)
- ▶ 地方会案内
- ▶ 国際交流
- ▶ 関連学会集会
- ▶ 利益相反
- ▶ 専門医制度
- ▶ 医学物理士制度
- ▶ リンク集
- ▶ 電子放射線診療用語集

会員専用ページへ

閲覧には会員番号と
パスワードが必要です



日本語

Search

4. その他

議 事:

1. 前回議事録の件

第7回理事会議事録を承認した.

前回議事録が承認され、会計契約の異議申し立てを行った件について報告がなされた.

2. 第62回日医放総会について

1) 小西会長より第62回総会の準備状況について資料に基づき、日本医学放射線学会、日本放射線技術学会との合同企画内容、国際シンポジウムのタイトルと演者と司会者の決定、また国内からの総会演題応募演題数は873題、うち採択843題、International Session 海外31題、国内26題合計57題の応募があったとの報告がなされた。

2) 優秀論文賞受賞者について

小平 毅君、田嶋 強君、新本 弘君の3名に決定した。

3. 第38回秋季臨床大会報告

渡会会長より約1030名の参加者があった。PC利用についてはその運用にあたっての機材・予算・人員運用マニュアル化が必要、参加者から他科の教育講演に人気があったこと、質疑時間をもう少し長くしてほしい等のアンケート意見結果があった。アンケートの集計結果を教育委員会へ提出の予定である旨報告がなされた。

4. 第39回秋季臨床大会について

中尾大会長より第39回秋季臨床大会の説明がなされた。会期は平成15年10月9、10、11日、会場は神戸ポートピアホテルにて開催の予定

5. 将来計画委員会(選挙制度・各種委員会)

早渕担当理事より、各種委員会委員の選出基準改正案(原則として委員長は担当理事が担当、任期は4年、再任は原則禁止)をまとめたものをメールマガジンで会員の意見を求めていた旨の報告がなされた。中村担当理事より、日医放選挙制度について中間報告がなされた。代議員への立候補資格案について説明がなされた。理事会で検討後、代議員会への出席率なども選出方法のひとつに加えることを検討、選挙管理委員会規約(内規)、選挙管理委員の選出方法、等について再度委員会で検討頂くこととした。

6. 学会雑誌について

継続審議事項である学会雑誌について、メディカルトリビューン社からだされた出版業務委託基本契約案および年間出版費用見積もり、メディカルトリビューン社、板井総務理事、隈崎会計理事との話し合いの経過について板井総務理事より説明がなされた。理事会で検討後、学会経費の問題があるので、来年度からの英文誌6号、邦文誌6号の発行については継続審議、メディカルトリビューン社への委託内容の見直しも含め、再度メディカルトリビューン社との話し合いを久保編集委員長も含めおこなうことを見据えた。

7. 定款の変更について

遠藤庶務担当理事より定款の変更について説明がなされた。

文部科学省より理事数増員について理由書を提出するように指示があり提出したとの報告がなされた。

また理事数、代議員数について検討した結果、定款が承認された場合には、理事16名、代議員250名(うち選挙220名、推薦30名)とすることとした。

8. 会計について

今年度名簿を発行すると赤字となるので来年度に繰り越したい

との報告がなされこれを承認した。来年度の活動の中で選挙、専門医修練機関、修練協力機関認定の事業があるがこれらの事業内容についても見直しの必要がある。専門医修練機関、協力機関認定については専門医認定委員会で検討いただき実費のみ請求する方向で検討することとした。

9. 学会内規について

遠藤庶務理事より文部科学省から学会内規を作成するよう指導があった件について説明がなされた。

会計処理規則案、事務処理規則案、就業規則案、公印取扱規則案について資料が出され、次回理事会で再度検討することとした。

10. 医療用標準線量計研究会の線量測定事業について

山田担当理事より医療用標準線量研究会将来問題の検討結果についての星会長からの回答について説明がなされた。線量測定研究会としては基本的には日医放の傘下で活動をおこなう、法人化を考えているが、法人への形態については次期会長の遠藤真広氏が中心となり検討をおこなっている状況であるとの報告がなされた。

11. 地方会抄録受付UMIN利用について

西谷理事より地方会の演題受付を各地方会で行なっている形式を統一すればUMINが使用できるのでは非そのようにしてはどうかとの提案がだされた。理事会で検討後、演題受付については問題がないが抄録の受付に多少地方会ごとに違いがあるので、その点も含め再度UMINに確認を取り、検討することとした。

12. JRCについて

板井総務理事より、JRCと日医放との現状問題としてJRCの中間法人化、JRCの理事として長く就任できる理事の推薦、総会の日医放との委託契約のJRCからの要望等について説明がなされた。総会の開催表現も含めこの件については継続審議とすることとした。

13. 医学物理士認定制度規約について

前回の理事会で検討された医学物理士認定制度の一部変更について山田担当理事より説明がなされ、理事会で検討後これを承認した。

14. 専門医修練機関の外国留学中における算定について

杉村理事より海外留学中の専門医修練認定についての提案が出された。

理事会で検討後これについては専門医認定委員会で検討いただくこととした。

15. 御園生賞について

奨励賞について1名の推薦が出されたが業績が放射線影響と関連が薄いとの意見等がだされ会長に一任することとした。

16. 会告の承認

12月号(事後) 第41回生物部会学術大会のお知らせ

1月号第39回日本医学放射線学会

秋季臨床大会案内

第15回優秀論文賞について

第14回放射線科専門医認定一次試験について

第12回放射線科専門医認定二次試験について

専門医試験の会告の中に症例登録の件を加えることを確認した。

17. その他

・遠藤庶務担当理事より次々々期会長に二名の立候補者があつたとの報告がなされた。会長選挙については予定通りの日程で行うことを確認した。

・名誉会員推薦方法について審議された。今年度は従来通り行う、次年度から推薦方法について検討することとした。

報告事項

1. 専門医連絡協議会報告

基本領域に救急リハビリ整形外科が加わった。専門医試験の研修期間についてローテーション期間も修練機関に入れるか等の問題が審議されている。この件については専門医認定委員会で審議することとした。

2. 医学物理連絡協議会

3. 各委員会報告

秋季大会議事録から下記委員会活動報告

?健保・健保実行合同委員会

?防護委員会

?将来計画委員会

?広報委員会

?医療事故防止委員会

?教育委員会

?乳房撮影委員会

?編集委員会報告

4. その他

田村理事より札幌で起きた医療事故のその後について経過報告がなされた。

[このページのトップへ戻る](#)